

回覧



厚狭中タイムス

学校教育目標：主体的に生きる生徒の育成

学校だより

山陽小野田市立厚狭中学校

令和8年5月19日

若葉をつき抜ける風が心地よく、日差しには夏の気配が感じられる季節となりました。校庭や体育館からは生徒たちの元気な声が響いています。新しいクラスがスタートして1ヶ月半が経ち、生徒たちからは中学生らしい頼もしさと落ち着きを感じられるようになってきました。



授業参観 PTA・体育文化後援会合同総会(4/28)

1年生にとっては中学生活初の授業参観ということもあり、平日にもかかわらず大変多くの保護者の方にご参観いただきました。



1-1 阿座上 教諭



1-2 藤井 教諭



1-3 岩崎 教諭



PTA 総会では、白土会長をはじめとする新役員や事業計画等が承認されました。

今年度も、保護者・地域の皆様とともに、様々な工夫とアイデアで教育活動を盛り上げていきたいと思っております。御協力をお願いいたします。

文責 校長 高来(たかぎ)



白土 PTA会長

| | | | | |
|--------|-----------------------|-----------------------|-------------|-----------------------------------|
| 17日(日) | 3年修学旅行(~19日) | 5/6 月の 行事 予定 | 2日(火) | 歯科検診 |
| 18日(月) | 1年ふるさと学習 2年「萩」社会見学 | | 3日(水) | 第1回進路説明会(3年生・保護者) |
| 22日(金) | 内科検診(2・3年生) 学級生徒会 | | 6日(土)・7日(日) | 選手権予選 |
| 25日(月) | 専門委員会 教育実習開始(2週間) | | 9日(火) | 眼科検診 |
| 27日(水) | 3校合同引き渡し訓練 | | 11日(木) | 耳鼻科検診 |
| 29日(金) | 全校集会 | | 15日(月) | 小中連携あいさつ運動 期末テスト発表 |
| | | | 18日(木) | 耳鼻科検診 期末テスト週間開始 メディアコントロール週間開始 |
| | | 19日(金) | 生徒総会 | |

学校運営協議会開催 ～厚狭中学校はコミュニティ・スクールです～

本校では、地域・家庭・学校が一体となって子どもたちを育てる「コミュニティ・スクール」の取組を進めています。これは、保護者や地域住民の皆様が学校運営の当事者として参画し、社会全体で生徒の成長を支える仕組みです。定期的に「学校運営協議会」を開催し、地域と学校が「どんな子どもを育てたいか」「何ができるか」を話し合い、協力して学校運営を行っています。



学校運営協議会委員の任期は2年間で、今年度、山陽小野田市教育委員会から次の方々が委員に任命されましたので、紹介します。敬称略（所属等）

| | | | |
|----|--------------------------------|-----|--------------------|
| 会長 | 平中 政明(厚狭地区自治会長連絡会) | 副会長 | 大森 弘文(出合地区自治会長連絡会) |
| 委員 | 白土創一郎(厚狭中学校 PTA) | 委員 | 石田 隆(厚狭地域交流センター) |
| 委員 | 森重 健(出合地域交流センター) | 委員 | 柴田 好江(家庭教育支援チーム) |
| 委員 | 森山 喜久(体育文化後援会) | 委員 | 石田 康正(地域教育協議会) |
| 委員 | 宮本 政志(元学校支援ボランティア コーディネーター) | 委員 | 田辺 弘美(主任児童委員) |

(校長 高来英行 教頭 丸谷友克 地域担当 阿座上 猛)

第1回学校運営協議会・地域教育協議会を5月14日に行いました。学校からの運営方針や取組状況の説明の後、「厚狭PRIDE(プライド)」についてグループに分かれて「熟議」を行いました。



「厚狭PRIDE」とは、ふるさと厚狭の未来を創る心意気を指しています。子どもたちのふるさとへの誇りと愛着を醸成するとともに、子どもたちの主体性をはじめとした生きる力を向上させることで、「地域の創り手」を創出しようとするものです。

委員の方々には、3グループに分かれて「厚狭PRIDE」を醸成するために学校・家庭や地域でできることについて、熱心に意見を出していただきました。一部を紹介します。

松嶽山初日を迎える会や古式行事などに多くの中学生が参加していて、とても喜ばれています。「次の年も参加する」「卒業後も友達を連れてくる」のように続いていくと、伝統が受け継がれるのではないのでしょうか。



平中 会長

地域の大人が「厚狭になぜ残っているのか、残りたくなるのか」を生徒に伝える機会があると良いのではないのでしょうか。親の言葉より地域の人の言葉の方が、子どもに響くこともあると思います。



森山 委員

子どもがボランティアとして参加して、大人と一緒に行事を盛り上げて行く中で、自己肯定感が上がると思います。私は、昨年厚狭中の生徒総会に参加して、子どもたちが厚狭中をより良くするために議論するのを見て感動しました。地域の大人が生徒総会に参加するのもよいのではないのでしょうか。



田辺 委員

土砂崩れ

4月末に、本校下の住宅で土砂崩れがありました。直接の影響は無く、直ちに危険ということではありません。ただ、給食車の通路となっている技術室付近は、その影響を慎重に見守る必要があります。今後、車両の通行は必要最小限に留めたいと思います。